

各 位

会 社 名 T D S E 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 東 垣 直 樹
 (コード番号:7046 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 専 務 浦 川 健
 (TEL.03-6383-3261)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年10月29日に公表しました業績予想を以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	1,600	120	120	83	40.68
今 回 修 正 予 想 (B)	1,700	192	192	133	64.83
増 減 額 (B - A)	100	72	72	49	
増 減 率 (%)	6.3	60.0	60.0	59.3	
(参考) 前期実績(2021年3月期)	1,323	50	68	190	93.11

注) 前期実績 (2021年3月期) においては、特別利益として投資有価証券売却益 207 百万円が計上されています。

2. 修正の理由

売上高については、「大規模×長期化(LTV 最大化)」につながる顧客との接点を増加させる活動を行ったことで、フロー型ビジネスでは、上期に大型化した顧客の案件が第3四半期以降も継続する見通しであり、また Netbase は堅調に推移している一方で、Cognigy については連携する QA ジェネレーター既存文書からの QA 自動作成サービス「QA ジェネレーター」を12月にリリースし、今後販売強化に努めていくところであります。このようなことから、前回予想を上回る見込みとなりました。また、利益については、案件獲得強化に向けた広告宣伝費や、事業強化および製品開発のための技術社員増強に向けた経費に加え、案件増加に伴う外注費が前年度対比で増加しますが、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を上回る見込みです。

今後も引き続き、フロー型ビジネスでは、顧客との中長期にわたる関係強化を目指した DX/AI アセスメント等のビジネス領域におけるコンサルティングの強化および AI システム実装のコンサルティングの強化を継続的に実施してまいります。また、ストック型サービスでは、継続的に提供している既存製品のサービス拡張および新サービスの提供に向け準備してまいります。加えて更なるデジタルマーケティングおよびパートナーネットワーク強化にも努める方針です。

更に、生産効率を高める組織や人材ポートフォリオの変更を行い、必要となる専門人材の確保を進めると共に、業務提携など他企業とのアライアンスについても推進してまいります。

(業績予想に関する注意事項)

上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる数値となる可能性があります。コロナの影響は2022年3月期中は続くものと仮定して業績予想を修正しております。